

「中区多文化共生推進アクションプラン」概要

このアクションプランは、目指すべきまちの姿である《ビジョン》及び区役所が行う具体的な《行動計画》で構成しています。

《ビジョン》

みんなヨコハマ中区人

出身地やルーツがどこにあっても、みんな中区に暮らすヨコハマ中区人です。
異なる人たちが混ざり合い共に暮らすことで中区をより豊かな社会とし、一人ひとりが大切にされていると感じながら暮らしていけるまちを目指します！

※行動計画(1～22)は新規(新)・拡充の取組

《行動計画》

※丸数字は重点行動計画(区役所の仕組みづくりに関するものや、複数課で連携して取り組むもの)

★多文化バリアフリー

言葉や文化の違いによる不利益が生じず、誰もが暮らしやすいまち

言葉や文化の違いからくる制度理解不足による不利益が生じないようにし、誰もが平等に行政サービスを受けられるようにします。

市の指針では

- ・誰もが活動・滞在しやすいよう「おもてなし力を高める」
→多言語対応等

① 庁舎案内サイン等の改善

② ウェルカムキットの見直しと整理

③ 外国人のための出前講座の実施 (新)

④ 全職員によるやさしい日本語対応の促進 (新)

5 外国語対応カードの作成・充実

6 申請様式や記入例の多言語化の拡充

7 子育て制度の要点を伝える手引きの充実

8 多言語対応支援ツール等の一覧化と周知 (新)

9 多言語等での情報提供の充実

10 なか国際交流ラウンジの庁内周知と連携強化 (新)

11 なか国際交流ラウンジへの庁内翻訳委託 (新)

12 外国人にわかりやすいマナー啓発の充実

★尊重

違いを認め合い尊重するまち

文化や価値観に違いがあっても、その違いを認め合い、尊重することが大切です。そのために、お互いを知ることから始めます。

市の指針では

- ・外国人が認められ、活躍できる「機会を作り出す」
→外国人に対する差別解消、外国人が活躍できるまちづくり等

⑬ 中区多文化スタディーツアー等の実施 (新)

14 転入職員向け多文化啓発研修の実施 (新)

⑮ 全職員による相手の母語でのあいさつ運動 (新)

16 都市計画マスタープランへの反映 (新)

17 外国人の文化を理解するための内部研修の実施 (新)

18 多文化共生情報の発信 (新)

★社会参加

誰もが地域の一員として社会に参加できるようサポートし、活躍の機会を創出できるまち

外国人はサポートを受けるだけの存在ではなく、力を発揮し地域の活力となり得ます。中区はそのための仕組みづくりを行います。

市の指針では

- ・外国人が抱える多様な課題に寄り添う「つながりを広げる」
→地域コミュニティと外国人のつながり支援等
- ・外国人が認められ、活躍できる「機会を創り出す」
→外国人に対する差別解消、外国人が活躍できるまちづくり等

⑲ 第2期多文化共生推進プロジェクトの実施

⑳ 地域と連携した多文化交流会の開催 (新)

21 多文化共生ボランティアの有効活用

22 外国人の防災訓練参加促進の拡充